

「食品に含まれるトランス脂肪酸」評価書案に寄せられた御意見等に対する回答案

1	<p>日本人のトランス脂肪酸の摂取量推計では、95 パーセンタイルの値においても、1～6歳の男性を除きエネルギー比 1%未満でした。したがって、通常の食生活では健康への影響は小さいと判断したものです。しかしながら、脂質に偏った食事をしている個人については、トランス脂肪酸摂取量のエネルギー比が 1%を超えていることが考えられるため、留意する必要があると判断しました。</p>
2	<p>日本人のトランス脂肪酸摂取量を考慮した結果、冠動脈疾患との関連性は喫煙などの危険因子と比較すると小さいと考えられました。しかしながら、脂質に偏った食事をしている個人については、関連性が大きくなると考えられることから、留意が必要と評価書案に明記しています。</p>
3	<p>日本人のトランス脂肪酸摂取量を考慮した結果、現状において、通常の食生活では健康への影響は小さいと考えられましたが、脂質に偏った食事をしている個人においては、留意が必要と判断しました。</p> <p>また、本評価はトランス脂肪酸に関する評価であり、飽和脂肪酸に関する評価を行ったものではありませんが、冠動脈疾患についてはトランス脂肪酸と比較し、飽和脂肪酸のリスクが小さいとの報告もあります。一方、日本人の飽和脂肪酸の摂取量を推計したところ、「日本人の食事摂取基準（2010年版）」での目標量の上限を超える性・年齢階級があることに留意する必要があると考えました。</p>
4	<p>今回の評価は、トランス脂肪酸を対象に行ったものです。</p> <p>現状においては、トランス脂肪酸の摂取量は、日本人の大多数が WHO の勧告（目標）基準であるエネルギー比 1%未満であり、また、健康への影響を評価できるレベルを下回っていることから、通常の食生活では健康への影響は小さいと考えられました。そのため、トランス脂肪酸と他の脂肪酸との相互作用については、検討しておりません。</p> <p>なお、今回、多価不飽和脂肪酸の効果についても評価しておらず、多価不飽和脂肪酸を魚油に絞って対象としたということもありません。</p>
5	<p>評価書案の個々の項目には、得られたデータから評価できた範囲の記載をしておりますが、評価書案の結論部分に「トランス脂肪酸全体で評価する」と記載しているとおり、食品健康影響評価においては、工業的に生成されたトランス脂肪酸と反すう動物由来のトランス脂肪酸を区別して評価しているわけではありません。</p>
6	<p>評価書案に記載しているとおり、冠動脈疾患等については、平均的な日本人のトランス脂肪酸摂取量では関連が明らかでないと評価しました。平均的な日本人の摂取量より明ら</p>

	かに摂取量が多い場合には冠動脈疾患等への影響が考えられました。
7	乳製品由来のトランス脂肪酸を含めて評価を行っており、トランス脂肪酸全体として評価を行った旨を記載しておりますので、「乳製品も含め」というような説明はしておりませんが、誤解等は生じないものと考えます。
8	調査した食品のトランス脂肪酸含有量について、高い低い等の概念的なもののみならず、どの程度なのか数値を用いた方が理解しやすいと考えます。このため、他の食品と比較し含有量が高かった2品目（12.2%、13.5%）を表すため、10%という数値を用いたものです。
9	評価書案においては、トランス脂肪酸の主な生成原因を記述していますが、「植物油由来」を「植物油由来等」と修正します。
10	御指摘のとおり、「共役トランス脂肪酸」という用語は一般的ではないため、御指摘のあった箇所について、「共役トランス脂肪酸」という言葉を削除します。
11	反すう動物由来のトランス脂肪酸の生成に係る詳細なメカニズムについては、今回の評価結果に影響することはないと考えられ、ここでは事象に関する記述としました。
12	トランス脂肪酸と定義する範囲については国により異なっておりますが、本評価においては、コーデックスの定義に従いトランス脂肪酸の範囲を定め評価を実施しました。したがって、「I. トランス脂肪酸の概要」の「3. 定義と種類」に本評価におけるトランス脂肪酸の範囲を明記します。
13	御指摘の記述は、参考文献を引用したものです。事実関係に即した記述に修正します。
14	「XI. 食品健康影響評価」の「2. 摂取量推定」に記述しておりますように、トランス脂肪酸の摂取量推定については、平成22年度食品安全委員会食品安全確保総合調査「食品に含まれるトランス脂肪酸に係る食品健康影響評価情報に関する調査」によるトランス脂肪酸摂取量推定値を基に食品健康影響評価を行いました。
15	トランス脂肪酸摂取量の多い欧米での報告では、エネルギー比2%のトランス脂肪酸を炭水化物又は他の脂肪酸に置き換えた場合、冠動脈疾患リスクに影響するというものがあります。しかし、摂取量がエネルギー比1%未満と推測される日本における報告はありません。 また、欧米においてもトランス脂肪酸摂取量を減少させた介入研究の報告はなく、欧米人に比ベトランス脂肪酸摂取量が少ない日本人においてトランス脂肪酸摂取量を更に減少させた場合の健康影響は現状においては不明です。

	<p>そのため、定量的な表現は困難ですが、日本においてもトランス脂肪酸摂取量がエネルギー比 1%を超えている人がいると考えられますので、そういった方にとっては、トランス脂肪酸摂取量を減少させることにより、将来の冠動脈疾患リスクを減少させる可能性が期待できると考えられました。</p>
16	<p>トランス脂肪酸の健康への影響は摂取量が関係するものであることから、本評価は現在の日本人のトランス脂肪酸摂取量において健康に影響を及ぼすかどうかという観点から行っており、閾値や用量反応関係を検討したのではなく、トランス脂肪酸についての TDI を設定できるようなデータもありませんでした。</p> <p>また、個々のトランス脂肪酸について評価を行うには知見が足りなかったため、トランス脂肪酸全体として評価を行い、その旨を評価書案に記載しております。</p>
17	<p>現時点において健康への影響を評価できるレベルは、その違いにより疾病等の罹患に有意差があらわれているトランス脂肪酸摂取量、すなわち、平均的な日本人の摂取量より多い摂取量であると考えられます。</p>
18	<p>食事の栄養バランスや脂質の摂取量については、食事バランスガイドや日本人の食事摂取基準（2010 年版）等が関係府省から公表され、普及啓発がなされているところです。</p> <p>なお、いただいた御意見については関係府省にもお伝えします。</p>
19	<p>コーデックスにおけるトランス脂肪酸の定義につきましては、脚注に原文を掲載させていただくとともに、参照先を変更します。</p> <p>また、コーデックスにおける定義の採択の流れにつきましては、整理した上で修正します。</p>
20	<p>情報提供ありがとうございます。いただいた情報を基に評価書に、FAO/WHO における状況について追記します。</p>
21	<p>いただいた御意見を参考にしつつ、今後のリスクコミュニケーション等に取り組んでまいります。</p>
22	<p>実態調査については、リスク管理機関において今後とも日本人のトランス脂肪酸摂取量を注視するとともに、引き続き疾病罹患リスク等に関する知見を収集するべきである旨、評価書に記載しておりますが、いただいた御意見についてはリスク管理機関にお伝えします。</p> <p>また、表示に関していただいた御意見については消費者庁にお伝えします。</p>
23	<p>トランス脂肪酸摂取量を推計したところ、日本人の大多数が WHO の勧告（目標）基準であるエネルギー比 1%未満であり、また、健康への影響を評価できるレベルを下回って</p>

	<p>いることから、通常の食生活では健康への影響は小さいと考えられました。</p> <p>また、表示に関していただいた御意見については消費者庁にお伝えします。</p>
24 ・ 25	<p>クローン病については、トランス脂肪酸を含む各種脂肪酸、脂肪、砂糖、菓子類、魚介類等の摂取との関連は報告されておりますが、現在の知見では、トランス脂肪酸とクローン病との関連を明確に示す報告はありません。</p> <p>また、トランス脂肪酸の規制に関する御意見についてはリスク管理機関にお伝えします。</p>
26	<p>日本人のトランス脂肪酸摂取量については、平均値のみならず分布等も含めて今回検討しており、その結果、現状において通常の食生活では健康への影響は小さいと考えられましたが、脂質に偏った食事をしている個人においては、留意が必要と判断しました。</p> <p>なお、トランス脂肪酸の含有量等に関する規制については、リスク管理機関において検討される事項となりますので、いただいた御意見についてはリスク管理機関にお伝えします。</p>
27	<p>国民健康・栄養調査における摂取量の調査項目については、国民の栄養素摂取量等の状況を把握するため厚生労働省で策定されていますので、いただいた御意見については厚生労働省にお伝えします。</p>
28	<p>御指摘の点は、どの程度なのか数値を用いた方が理解しやすいと考えましたが、Q&A等の参考資料への御意見につきましては、いただいた御意見を参考にしつつ、今後のリスクコミュニケーション等に取り組んでまいります。なお、食品安全委員会の調査事業においてトランス脂肪酸の含有量の検査を実施したショートニングは、業務用だけでなく市販用も含まれております。また、含有量の平均値は業務用が13.1 g/100 gで、市販用が21.1 g/100 gでした。</p>
29	<p>参考資料への御意見につきましては、いただいた御意見を参考にしつつ、今後のリスクコミュニケーション等に取り組んでまいります。</p>
30	<p>情報提供ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。</p>
31	<p>御意見をいただき、ありがとうございました。</p>